



静岡県男女共同参画センター・あざれあ情報誌

epooca

この人に聞く！

やぐち ちづこ
谷口 千津子 さん

ふじのくに女性医師支援センター 専任医師
浜松医科大学附属病院 女性医師支援センター 特任講師

女性の復職 ふじのくに 女性医師支援センターの取組

近年、ワーク・ライフ・バランスの実践を掲げる企業が増え、男女共に「家庭と仕事の両立」について考える機会が多くなりました。しかし、出産・育休等から復職した後の生活プランに頭を悩ませる女性はまだまだ多いのが現状です。

ふじのくに女性医師支援センター及び浜松医科大学附属女性医師支援センターでは、学内や県内で働く女性医師の復職支援を行っています。ふじのくに女性医師支援センターの専任医師である谷口千津子さんに、その取組について伺いました。



◆センターの支援内容

ふじのくに女性医師支援センターは、平成 29 年から県の委託を受けて、医局や大学の所属にかかわらず、女性医師の復職支援を行うことを目的に浜松医大の中に開設されました。

医師に限らずですが、結婚や出産といったライフイベントが重なる時期に仕事の中でもキャリアを積んでいかなければいけない、そういう若手医師が大学病院をはじめとして県内の病院にはたくさんいらっしゃいます。

仕事と家庭の両立が難しいと感じると現場から離れ、キャリア形成をあきらめてしまう女性医師もいる中、仕事と家庭の両立をお手伝いするために産休・育休明けの人や、夫の転勤で県外から転居してきた人などに復職・就業支援を行い、現在、子育て真っ最中で悩むことが多い皆さんに対して子育てやキャリアの相談、講演会等の啓発活動や働き方の提案といった活動を行っています。

静岡県は東西に長い県ですので遠い地域でも当センターと連携できるように、県内医療機関を東部から西部まで順次訪問をさせていただき、情報共有ができるよう支援担当者を置いてもらっています。情報をいただいた際、その施設の女性医師の支援に対応するようにしています。

特に 10 年目以下の若手の医師が多く所属している浜松医大の中では出産後の女性医師の支援について、所属している診療科等の理解が必要となってきます。本来、大学病院の勤務形態は、所属する診療科等のルールに従うことになります。しかし出産後その全てのルールにゆえられず、キャリア形成をあきらめ退職する場合もあるため当センターでは常勤への準備期間として、新たな採用枠「女性支援センター所属の医員・非常勤医師」を設けました。仕事自体はももとの自身の専門科ですが、女性医師支援センター所属となることで、就業する前に自分に可能な働き方を診療科の先生と当センターで確認をして就業時間、業務内容を決定しますの

(次ページへ続く)

静岡県男女共同参画センター・あざれあ

☎422-8063 静岡市駿河区馬淵 1-17-1

TEL : 054-250-8147 FAX : 054-251-5085 e-mail : info@azarea-navi.jp

URL : <https://www.azarea-navi.jp/>

編集・発行 : あざれあ交流会議グループ

相談は現在、対面や電話、メールで受けており、相談件数の実績は年々上がってきています。一番多い相談は「子どもが保育園・学童保育に入るのが難しい」ということ。近頃は院内保育施設ができつつありますが、地域の保育園を希望する人は多いです。また小学校に入ると更にお子さんの預け先に苦労する話をよく聞きます。当センターは、浜松市のファミリーサポートセンターの運営を担っている“認定 NPO 法人はまっ子育てネットワークびっぴ”の協力を得て、情報提供や手続き支援を行っています。



女性医師に限らない話ですが「どうかたちで仕事と家庭が両立できるか」は誰も教えてくれません。私たちは相談を受けた時、御自身がどのような希望があるのかを伺った上で様々な働き方の提示や具体的に現在両立している先輩医師と話をする機会を提供したりしています。キャリア形成の相談にはその診療科の専門的な情報も必要になってきますので大学内の各診療科と連携し、どのような勤務をしていけばよいかなど働き方の具体的な相談もしています。

◆上司や夫も悩んでいる

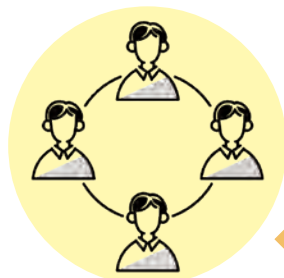
女性医師を指導する立場の先生から「どこまで仕事をしてもらえばいいのか」と相談を受けることがあります。指導する先生も女性の働き方に関心を持つ人が増えましたが、具体的にどういう配慮をすればよいか、わからないところがあるようです。また女性医師は、自身の復帰について子育てと仕事のバランスについてどこまで要望してよいか分からない中、指導する先生に復帰について直接話をする事になり、不安に思いながら復帰準備をしなくてはなりません。特に医師は事務的な制度については上司も当事者も詳しくない方が多く、センターはそのような情報提供をしながら第三者的な立場で、女性医師の要望、上司の要望、双方から話を聞きスムーズな復帰のお手伝いをしています。その方がお互いに伝えたいことがはっきり伝えられ、復帰後の問題も起こりにくくなるのではないかと思います。

女性医師の夫からの相談も増えました。「自分も育休がとれないか」「妻と同じように自分も育児に関わりたい」と話す人もいます。「夫婦がお互いにどうやって仕事と家庭を両立するか」という復帰後のプランを夫婦で考える場面に、センターが立ち会ったりすることもあります。

当大学では女性医師と話をしたいという女子学生もいるので、交流会を開催しています。ここには子育て中の男性医師も参加して夫の立場から、上司の立場からもざっくばらんに話をします。学生には自分たちの未来を見てほしいですね。男子学生にも自分のパートナーがどのようなことで悩むのか、自分の立場で考えてもらえるよう参加してもらえよう働きかけをしています。

◆新型コロナウイルス感染症の影響

この一年でオンライン形式のイベントが広く世間に浸透しました。今までは対面のみで実施していた講演会やシンポジウムを、今年は対面とオンラインのハイブリット形式で開催します。オンラインのおかげで遠方からの参加者もいます。子どもを見ながら自宅から参加できる気楽さがいいのかもしれません。



また、医師は学会に参加することでキャリアを積むという側面があります。育児中の学会参加は難しいですが、去年はオンラインのおかげで学会参加が増えたという人が多くいました。このメリットは今後も活かしていきたいです。

◆一人ではなく、みんなで

男女共同参画の意識は、男女問わず広がってきていると感じます。「女性もやみくもに働け」というよりは、「どんなかたちでもいいから復職できるように周囲が協力する」という風になってきています。ただ、その分負担のかかるサポート役の先生が疲れてしまうので、お互い無理せず、グループチーム制を作るのが理想かなと思います。

一般企業も同じだと思いますが、産休・育休後に復職する時、常勤が「1」だとして、その「1」働くことは難しいです。0.7でも0.5でもいいから現場に戻れる道をつくっていきたいです。

マタニティ白衣・パンツのご紹介

ふじのくに女性医師支援センターでは、妊娠中の女性医師にマタニティ白衣・パンツの無料レンタルを行っています。

腹囲の変化に合わせてウエスト調整可能など、嬉しい工夫がいっぱいあります。

★詳しくはこちらを御覧ください。

<http://www2.hama-med.ac.jp/w1b/woman/content/rent.html>



社内全体に男女共同参画の意識の浸透を ～SDGsを通した取組～

煙火（花火）の製造や打ち上げ業務を行っている三遠煙火株式会社は、男女共同参画やSDGsの推進活動について積極的に取り組んでいる企業です。推進活動を企画している従業員の小口三佑里（おぐちさゆり）さんに話を伺いました。

令和3年現在の同社の従業員数は13人、うち女性は3人。「子育ての真っ最中でもある女性従業員2人は主に煙火の製造の仕上げを担当しています。2人とも担当部門のエースです」と小口さんはいいます。一方で、打ち上げ業務が休日に集中し、片付けも含めて深夜に及ぶという花火業界の事情もあって、育児中の女性は活躍できる場が限られているとのこと。「このような中で、男女共同参画についてどうことができるのか。女性が権利を主張するだけでなく、同じ業務の担い手である男性従業員や経営者を含む全員が、ジェンダーの差によって生じる仕事上のリスクを理解することが重要なのではないかと考えました」

新型コロナウイルス感染症の影響から同社も休業を余儀なくされ、現在の出勤状況は週1、2回。「今しかできないことをやろう」と考えた小口さんは、静岡県県の「令和2年度男女共同参画社会づくり宣言事業所・団体研修応援事業」の支援を受け、昨年6月から数回に分けて、SDGsに関する社内の教育研修を企画しました。

研修テーマとして「SDGsゴール5“ジェンダーの平等”」に焦点をあて、カードゲームを通してSDGsの浸透を図りました。SDGsを推進することで、社会がどう変わるか理解を深め、自社の業務にどう取り入れていけるかを考えましたが、最初は「SDGsの実現は難しい」といった戸惑いの声から従業員から聞こえてきたといいます。しかし、研修を重ねていくうちに「自社の課題が見えてきた」といった意識の変化が見られました。「研修を通して、自分達もSDGsが掲げる課題の当事者だと気付くことができました。SDGsに取り組むことが企業の利益にもつながるということを理解してもらえたのも大きなステップだったと思います」

男女共同参画やSDGsの意識を社内全体に浸透することが大事だと小口さんはいいます。「男性もジェンダー問題に関わっていることを分かってもらわないと進みません。まだやることはあると思いますし、こういう課題に取り組まないと業界としても取り残されてしまいます。若い人のためにも、これからも積極的に進めていきたいと思っています」



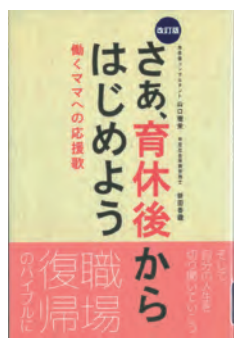
作業中の女性従業員二人

ブックサポーター50

女性の職業復帰支援

『改訂版 さあ、育休後からはじめよう
：働くママへの応援歌』

(山口理栄・新田香織 著 労働調査会 2016年)



育児休業の取得後、職場復帰する人が増加傾向にあるといいます。以前に比べて、産休・育休を取ることや職場復帰も難しくない環境ができているからだといえます。仕事と育児の両立を支援して、女性が仕事しやすい制度を見直すきっかけとなる本です。

『ママの仕事復帰のために
：パパも会社も知っておきたい46のアイディア』(NPO法人ファザーリング・ジャパン
マザーリングプロジェクト 編 労働調査会 2014年)

「子育てが一段落ついたら、仕事したい」と思っている方は多いのではないのでしょうか。

一段落が分らなかったり、タイミングが合わなかったりと、思うように働けないのが現状です。

本書は気持ち編、実践編とあります。ロールモデルも一緒に掲載されているので、自分に適した仕事の働き方がわかります。

あざれあ図書室
利用案内

貸出：図書5冊、ビデオ・DVD2本（2週間）
開室時間：月～金 9:00～18:00 土日祝 9:00～17:00
休室日：第1・3・5日曜日、図書整理日
TEL：054-255-8763 FAX：054-255-8759

※内装改修他工事のため、令和3年8月30日から10月2日まで休室となります。



あざれあメッセ2021 開催!!

10/23(土)

10:00
15:30

静岡県男女共同参画センター
in あざれあ

「あざれあメッセ」は「男女共同参画」について楽しみながら知ってもらう年に一度のイベントです。実施内容は、映画上映、パネルディスカッション、団体紹介等を予定！是非ご参加ください！！

※一部、WEB 実施あり。詳細はあざれあナビを御覧ください。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、実施内容が変更となる場合があります。あらかじめ御了承ください。



大募集!!

WEB サイト「あざれあナビ」(+ パネル展示) で活動紹介しませんか

WEB サイト「あざれあナビ」で、男女共同参画等について活動を行っている団体・個人を紹介します！日頃の活動や今後の予定など、この機会にぜひアピールしてください！

※WEB サイト「あざれあナビ」で紹介した内容は、あざれあ館内でもパネル展示します（パネルはあざれあで作成）

【WEB サイト紹介 掲載日時】令和3年10月23日（土）～ 原則無期限掲載

【募集対象】男女共同参画等に関する活動をしている団体、個人（20 程度） / 参加無料

【申込方法】申込書をメール・郵送・持参のいずれかで提出してください / 9月30日（木）締切

※申込書は「あざれあナビ」でダウンロード可

【申込み・問合せ】

NPO 法人あざれあ交流会議 事業課（平日 9:00 ～ 18:00）

☎422-8063 静岡市駿河区馬淵 1-17-1

電話：054-250-8147 / FAX：054-251-5085 / メール：azareamesse@gmail.com

※迷惑メール設定をされている方は受信できるよう設定をお願いします。

申込フォーム



あざれあナビ



ふじのくに LGBT 電話相談

静岡県内に在住、在勤、在学の方が相談できます。
秘密厳守、匿名 OK、相談無料です。



0120-279-585 毎月第1火曜日・第3土曜日 18:00 ～ 22:00（令和3年8月3日から開設）

性のあり方に関する悩みや困りごとについてお話しください。

例）性別に違和感がある、同性が好きなことを誰にも言えない、家族や友人の理解が得られない等
※御本人だけでなく、家族、友人、職場や学校の関係者も相談できます。 ※専門相談員による相談です。



あざれあ相談



悩んだとき、困ったときは、あざれあへ

女性相談

女性が抱える様々な悩みについて、女性相談員が対応します。



0558-23-7879 賀茂 / 055-925-7879 東部
054-272-7879 中部 / 053-456-7879 西部
054-272-7887（令和3年6月25日から増設）

月・火・木・金 9:00 ～ 16:00
水曜日 14:00 ～ 20:00
第2土曜日 13:00 ～ 18:00

※いずれも、祝日・お盆・年末年始を除く
※混み合う場合がございます。時間をあけておかけ直してください。

DV その他暴力に関する相談（予約制面接相談）

月・木 10:00 ～ 15:00 / 水曜日 14:00 ～ 19:00
◎まずは電話相談におかけください。

インターネット相談

専用の入力フォームに相談内容を記入して送信してください。

※相談に対する回答は、1週間程度かかります。お急ぎの場合は、電話相談をご利用ください。
※GW、お盆、年末年始等あざれあ相談を実施していない期間は送信いただいた相談を確認できませんので、回答には通常よりお時間をいただきます。ご了承ください。



あざれあ相談

<https://www.azarea-navi.jp/shisetsu/soudan/>

男性相談

生き方・家族・仕事・健康等の悩みについて、男性相談員が対応します。



専用電話 054-272-7880

毎月第1・3土曜日 13:00 ～ 17:00

※つながらない場合は、少し時間をおいてかけ直してください。
※第1・3土曜日が休館日の場合、次週の土曜日に実施します。